

## 海底土核種分析結果<1/4>

( データ集約 : 2/22 )

採取場所	小高区沖合 3km	岩沢海岸沖合 3km	福島第一 敷地沖合15km
試料採取日	平成24年1月7日	平成24年1月5日	平成24年1月10日
検出核種 (半減期)	試料濃度 ( I-131, Cs-134, Cs-137 : Bq/kg・湿土 , Sr-89, Sr-90 : Bq/kg・乾土 )		
I-131 (約8日)	ND	ND	ND
Cs-134 (約2年)	41	1,800	23
Cs-137 (約30年)	54	2,300	28
Sr-89 (約51日)	-	ND	-
Sr-90 (約29年)	ND	ND	ND
<small>福島第一及び福島第二付近の近海におけるSr-90の過去測定値の範囲(平成11年度～平成20年度) : ND～0.17 Bq/kg・乾土                      出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)</small>			

試料濃度が「 - 」とは、測定対象外を示す。

I-131, Cs-134, Cs-137については、1月7日, 9日, 12日公表。

分析機関：日本分析センター (Sr-89, Sr-90), 東京電力 (I-131, Cs-134, Cs-137)

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約15Bq/kg・湿土,

Sr-89が約3Bq/kg・乾土, Sr-90が約2Bq/kg・乾土。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

今回測定した試料からはSr-89, Sr-90は検出されなかった。

## 海底土核種分析結果<2/4>

(データ集約：2/22)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側	福島第一 南放水口付近	
試料採取日	平成24年1月18日	平成24年1月18日	
検出核種 (半減期)	試料濃度 ( I-131, Cs-134, Cs-137 : Bq/kg・湿土 , Sr-89, Sr-90 : Bq/kg・乾土)		
I-131 (約8日)	ND	ND	
Cs-134 (約2年)	1,200	1,400	
Cs-137 (約30年)	1,600	1,800	
Sr-89 (約51日)	ND	6.9	
Sr-90 (約29年)	ND	30	
<small>福島第一及び福島第二付近の近海におけるSr-90の過去測定値の範囲(平成11年度～平成20年度)：ND～0.17 Bq/kg・乾土                      出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)</small>			

試料濃度が「 - 」とは、測定対象外を示す。

I-131, Cs-134, Cs-137については、1月20日公表。

分析機関：日本分析センター (Sr-89, Sr-90) , 東京電力 (I-131, Cs-134, Cs-137)

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約12Bq/kg・湿土,

Sr-89が約2Bq/kg・乾土, Sr-90が約1Bq/kg・乾土。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

検出されたSr-90の濃度は、福島第一及び福島第二付近の近海における過去測定値の範囲を上回っており、今回の事故に由来するものと考えられる。

## 海底土核種分析結果<3/4>

(データ集約：2/22)

採取場所	原町区沖合 3km	岩沢海岸沖合 8km	
試料採取日	平成24年1月7日	平成24年1月7日	
検出核種 (半減期)	試料濃度 ( I-131, Cs-134, Cs-137 : Bq/kg・湿土 , Sr-89, Sr-90 : Bq/kg・乾土 )		
I-131 (約8日)	ND	ND	
Cs-134 (約2年)	29	410	
Cs-137 (約30年)	32	550	
Sr-89 (約51日)	-	-	
Sr-90 (約29年)	ND	ND	
<small>福島第一及び福島第二付近の近海におけるSr-90の過去測定値の範囲(平成11年度～平成20年度)：ND～0.17 Bq/kg・乾土                      出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)</small>			

試料濃度が「 - 」とは、測定対象外を示す。

I-131, Cs-134, Cs-137については、1月9日公表。

分析機関：日本分析センター (Sr-89, Sr-90) , 東京電力 (I-131, Cs-134, Cs-137)

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約8Bq/kg・湿土,

Sr-90が約2Bq/kg・乾土。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

今回測定した試料からはSr-90は検出されなかった。

## 海底土核種分析結果<4/4>

(データ集約：2/22)

採取場所	鹿島沖合 5km	沼の内沖合 5km	
試料採取日	平成24年1月26日	平成24年1月13日	
検出核種 (半減期)	試料濃度 ( I-131, Cs-134, Cs-137 : Bq/kg・湿土 , Sr-89, Sr-90 : Bq/kg・乾土)		
I-131 (約8日)	ND	ND	
Cs-134 (約2年)	37	520	
Cs-137 (約30年)	47	660	
Sr-89 (約51日)	-	ND	
Sr-90 (約29年)	ND	ND	
<small>福島第一及び福島第二付近の近海におけるSr-90の過去測定値の範囲(平成11年度～平成20年度)：ND～0.17 Bq/kg・乾土                      出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)</small>			

試料濃度が「 - 」とは、測定対象外を示す。

I-131, Cs-134, Cs-137については、1月15日, 28日公表。

分析機関：日本分析センター (Sr-89, Sr-90), 東京電力 (I-131, Cs-134, Cs-137)

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約9Bq/kg・湿土,

Sr-89が約3Bq/kg・乾土, Sr-90が約2Bq/kg・乾土。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

今回測定した試料からはSr-89, Sr-90は検出されなかった。